様式第1号

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 6年 5月 31日

学校名　明新小学校

校長氏名　橋本 和也

1 今年度の目標(学校の約束)

①明新地区の環境、地球環境について学習します。
②水や電気などの資源を大切に使います。
③家庭・地域と連携し、清掃活動やリサイクルに努めます。

2 取組内容

① 環境学習
・１、２年生が校区に出かけ、身近な自然とふれあい、環境保全の大切さを学びます。
・４年生が社会科の「ごみのしょ理と利用」の学習で、ごみの減量やリサイクルについて学び、環境保全の意識を高めます。
・６年生が家庭科の「持続可能な社会のために」の学習で、SDGｓについて学び、生活と環境の関係について知り、自分にできることを考えます。

② 節電・節水の取組
・児童会活動で校内の節電・節水に対する呼びかけやポスターの掲示を行います。

③ リサイクル・清掃活動
・児童一人ひとりがリサイクルの意識を高められるよう、教室に資源ゴミの回収場所を作り、美化委員会が呼びかけを行います。
・給食委員会が、ゴミの分別や食べ残しをしないことを呼びかけるポスターの掲示を行います。
・ＰＴＡ活動と連携して体操服バザーを行ったり、資源回収ボックスを常設し古新聞、古雑誌、アルミ缶の回収を随時行ったりします。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

③のリサイクルに関わる活動では、委員会を中心に取り組み、現在の生活を見直し、自分たちの身の回りでできる環境保全活動を考えることを通して、持続可能な将来を創造する力を養う。
また、PTA 活動との連携によって地域住民とともに協力し、環境保全やリサイクルへの意識を高める。

様式第２号　　（提出日）令和　７年　１月１６日

福井市学校版環境ＩＳＯ　実施報告書

学校名

福井市明新小学校

１　今年度の目標（学校の約束）

① 明新地区の環境、地球環境について学習します。
② 水や電気などの資源を大切に使います。
③ 家庭・地域と連携し、清掃活動やリサイクルに努めます。

２　取組内容

①環境学習

・４年生の社会科「ごみのしょ理と利用」、「くらしをささえる水」の学習では、ごみの分別や減量、リサイクル、節水など自分たちの生活でできることを考え、環境への意識を高めた。

・１年生の生活科の学習で、校庭で自然探しや生き物探しを行った。その後、地域の公園に出かけ、ドングリや落ち葉を拾ったり、生き物の隠れ家を探したりする活動を行った。その活動を通して、生き物の生活を守るためにも、自然を守ることが大切だということを学んだ。

②節電・節水への取り組み

・昨年度までの取り組みを継続した。校内の電気のスイッチには節電を呼びかけるステッカーを、手洗い場の近くには節水を呼びかけるステッカーを掲示して、節電・節水についての意識を高めた。

③リサイクル・清掃活動

・各教室に資源ごみの回収ボックスを設置して、児童ひとりひとりがリサイクルの意識を持つことができた。

・給食委員会が、ごみの分別や食べ残しをしないことをお昼の放送やポスターを通して呼び掛け、食べ物や資源を大切にしようとする意識を高めることができた。
・ＰＴＡ活動ではリサイクル体操服の回収、販売を行うことができた。
・資源回収ボックスの設置で、常時アルミ缶の回収ができた。

★　ＥＳＤポイント（取組内容の内、１項目についてＥＳＤの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①の環境学習では、活動を通して現在の生活について見直し、自分たちがこれからも継続して取り組める活動を考えた。また、自分たちの生活と環境や生物との関係を学習したことで持続可能な将来を想像したり、環境保全の意識をもったりするきっかけとなった。１年生の生活科、公園へ出かける学習では、普段から遊ぶ公園の環境に目を向けることで、低学年から環境保全の意識をもつきっかけとなるようにした。

３　直し	**【具体的効果】** ①生活科や社会科の学習で地域の自然や環境について学習することによって、今まで気づかなかった自分たちの生活と環境との関わりを知り、これからはごみの資源化や環境保全に努めようとする意識が高まった。 ②節電・節水を呼びかけるステッカーやポスターを掲示することで、児童一人一人が心がけることができた。また、資源のむだづかいに気を付け、大切にしようという気持ちが育ってきている。 ③教室で過ごす中で、資源ごみや給食のごみのリサイクルが定着し、一人一人が意識して環境に目を向ける時間をとることができた。さらに、環境保全の活動を、家庭や自分たちの地域でも続けたいという意識をもつことができた。
	【改善点】 ・環境学習をした際には、活動が一時的なものとして終わるのではなく、その後も自ら継続して取り組もうとする意識を醸成するため、振り返り活動や、その後の学習で思い返す場を設けるなどしていきたい。 ・活動の状況について、委員会の中で話し合う活動を設け、教師と児童がともに考えながら、これからも積極的に環境整備を呼びかけていきたい。